

酪農宮崎

令和6年11月30日 印刷
令和6年12月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県経済農業協同組合連合会
電話(0985)31-2100
<http://www.kei.mz-ja.or.jp/>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.639
2025年2月



南加納保育園モーモースクール(1月23日実施)

2月号目次

酪農情勢報告	1
ルーツを訪ねて!／酪農川柳募集	2
畜産試験場のドローン作付けの取り組み	3~4
令和6年度牛群審査報告	5~8
農学部ナンノ教授のひとりごと	9

全酪連広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



経済連HP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和7年1月15日現在

指定団体	12月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	330,576	102.2	2,956,694	100.9
東北	37,779	101.5	336,590	97.4
関東	85,123	99.7	754,700	99.8
北陸	5,235	96.0	47,700	95.8
東海	23,777	97.6	212,128	97.5
近畿	11,235	96.8	101,387	98.7
中国	23,664	99.3	212,509	100.4
四国	8,416	97.4	74,032	96.9
九州	44,634	96.9	397,685	98.1
(内、宮崎)	5,536	99.4	49,523	101.5
都府県	239,864	98.9	2,136,730	98.7
合計	570,439	100.8	5,093,424	99.9

2. 販売状況

令和7年1月15日現在

用途	区分	12月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	229,671	99.1	2,221,146	97.7
	九州	28,593	97.2	279,087	96.6
はっ酵乳等	全国	32,548	98.1	321,478	99.0
	九州	6,164	92.3	65,738	101.8
特定乳製品	全国	164,440	102.4	1,263,333	104.5
	九州	7,263	99.1	32,460	109.4
生クリーム	全国	107,291	101.9	972,318	100.1
	九州	2,520	97.9	19,560	92.2
チーズ	全国	36,489	103.5	315,150	99.0
	九州	94	129.9	840	101.6
合計	全国	570,439	100.8	5,093,424	99.9
	九州	44,634	96.9	397,685	98.1

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 12月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	4 戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	3 戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	7 戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	26 戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	61 戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	49 戸
10 t 未満	20 戸
合計	170 戸
最高出荷量	568t/月
平均出荷量	33t/月

4. トピックス

令和7年度加工原料乳支援決定！

日差しの明るさに春の気配を感じるようになりましたが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和7年度の加工原料乳生産者補給金及び集送乳調整金の単価と総交付対象数量を含む、畜産物価格・関連対策について、畜酪対策委員会でお表のとおり決定されました。

【加工原料乳生産者補給金単価等と総交付対象数量等】

加工原料乳支援	令和7年度	令和6年度	前年差
加工原料乳生産者補給金	9.09円/kg	8.92円/kg	+0.17円/kg
集送乳調整金	2.73円/kg	2.68円/kg	+0.05円/kg
ALIC事業	0.08円/kg	0.07円/kg	+0.01円/kg
単価合計	11.90円/kg	11.67円/kg	+0.23円/kg
総交付対象数量	325万t	325万t	—
ALIC事業	18万t(※)	18万t(※)	—
数量合計	343万t	343万t	—

※うち13万tの単価は脂肪のみに充てる

補給金・調整金単価について、前回は、生産コスト上昇の幅が大きく前年比0.26円/kgの増でありましたが、今回も引き続き、配合飼料等の高止まりによる生産コスト高を織り込まれ、前年比0.22円/kgの増となりました。また、集送乳調整金へのALIC事業(集送乳経費の上昇抑制対策)を合わせると前年比0.23円/kgの増となります。総交付対象数量は、据え置きとなり、令和6年度同様にALIC事業の別枠のうち5万tを補給金制度と同単価で支援し、残り13万tは、脱脂粉乳の需要が見込めないことを踏まえ、脂肪分のみを補給金相当額に充てることとなっております。

都府県の生乳生産量は減少傾向であり、以前の年末年始に危惧された処理不可能乳発生のような不安感はありませんでしたが、度重なる食料品等の値上げの影響により、消費減退や比較的安価な乳飲料、加工乳等の購買ヘシフトしている状況となっております。そのような中、昨年末に実施しました九州管内特別推進につきまして、本県では、LL牛乳(24本入)1,367㍑(目標1,253㍑)の実績となり、酪農家の皆様、関係者の皆様には、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今後も関係者や乳業メーカー等と連携を図り、消費者への酪農理解醸成の活動、牛乳・乳製品消費拡大の取り組みを強化し、牛乳・乳製品を多くの方に適正価格でご購買いただくよう、尽力してまいりたいと思っておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

ルーツを訪ねて!「老牧夫回想録」より(高橋照次著)

将来余り乳価を上げ過ぎると、国民大衆が牛乳を離れ、結局酪農は墓穴を掘り兼ねないと思う。だから徹底した生産コスト引下げへの前提として是非踏み切ってほしい。」と大手メーカーの首脳部にも申し、又酪農民諸君にも、生産コスト引き下げを訴えて来たが、今回の視察の結論はやはり「日本の酪農が発展するためには、国も県も団体もメーカーも、生産者も総力を挙げてコスト・ダウンを図らねばならない」と云うことに尽きるようである。

(イ) 乳価は消費大衆の消化し得るものであること、これは当然過ぎることであるが……国民所得の高い欧米、いや私のみたニュージーランドとオーストラリアでは勤労者の月収は大体十万円であるが、これは日本のそれよりも二倍近い額だと思う。しかるに牛乳は一バイントが前者で五セント、後者で十一セント、と云うことは一八〇c.c.当りでは、ニュージーランドで六円五〇銭、オーストラリアで十四円二〇銭、しかも脂肪率は三・五%以上。

即ち国民大衆の常食となるためには、当然のこと乍ら安い……経済的であることが必須条件になる。この視点に立って論ずるならば、わが国の牛乳価格を現在以上に引き上げる場合は、物価指数だけでは論じ得ないことを慎重に考えねばならない。

もう一つ注意しなければならないことは、牛乳乳製品に親しんでいる人でも、自分の財布に合わなくなれば、当然安い乳製品輸入を政府に迫るであろうし、或は合成技術の進歩した今では、乳糖とカゼインの合成乳でもよいと云うであろう。又企業利潤を追及するメーカーとしては、アイスクリームどころか、牛乳まで儲かるとなれば作り出すことができる程技術が進んでいることは、牛乳に関係ある仕事に携さわる者ならもはや周知のことである。

『酪農川柳』大募集!!

酪農において「いつも感じている事」や「こうありたいな」、

「こうあった方がいいな」、「こんなことがおもしろい」

「こんなおもしろいことがあった」、「牛さんはこう感じているかな」

など、様々なことがあると思います。それを川柳風にまとめてみませんか？

きっと「酪農ってイイよね〜♪」って思えるはずです。

たくさんのご応募お待ちしておりますま〜す♪

【申込先】

JAの酪農担当部署、JA宮崎経済連酪農課

(TEL:0985-31-2128 Fax:0985-31-5765)まで!



畜産試験場のドローン作付けの取り組みについて ～ドローン播種による省力化の効果～

1. はじめに

畜産試験場酪農飼料部 主任研究員 黒木邦彦

近年の畜産経営は、複合的な要因により飼料価格が高騰しており、生産コスト増大が大きな課題となっています。

これらの対策として、限られた耕作地や労働力を有効に活用するために、飼料生産作業の効率化、省力化を図ることが求められています。

そこで、畜産試験場では農業用ドローンを活用した効率的な飼料生産のためのデータ集積や実用化に向けた技術の確立を図る試験を行っています。



2. 取組内容

播種作業の効率化

○作業条件

草種：イタリアンライグラス

播種面積：50a

播種量：3.0kg/10a

○散布物の詳細

名称	イタリアンライグラス (Kyushu1)	
区分	種子	
比重 (g/ℓ)	456.5	
散布物サイズ(mm)		
	長辺	短辺
平均	5.5	1.5



○ドローンを活用した播種と慣行播種の比較

イタリアンライグラスの播種における作業時間について、ドローン播種と慣行作業であるトラクターに装着したブロードキャスターで作業時間の比較を行いました。



ドローン播種【DJIT-30】



ブロードキャスター播種

3. 調査結果

	播種面積	播種量	総作業時間	短縮時間	10aあたり 短縮時間	削減割合
ブロードキャスター	50.0a	15.0kg	9分00秒	-	-	-
ドローン	50.0a	15.0kg	4分04秒	4分56秒	59.2秒	54.8%

ドローン播種はブロードキャスターと比較して、作業時間の短縮が図られました。

4. ドローン設定アプリ【ドローン助さま】

農業用ドローンで種子や肥料を散布する場合には、散布物ごとに飛行条件を設定し面積あたりの散布量を調整するための計算が必要です。

畜産試験場ではその飛行条件の設定をサポートするスマートフォンアプリを県立佐土原高校と共同でリリースしています。



必要項目を入力すると、飛行条件を計算し表示してくれるアプリです。
使い方などの問合せは畜産試験場までご連絡ください。

5. ドローンのメリット・デメリット

メリット

- 農業用ドローンは傾斜地やほ場間の段差にも対応が可能
→狭小農地・山間地域でより有効
- コンパクトに運搬できるので農地までの移動が迅速
→移動時間も含めた作業時間短縮が期待される

移動時間の比較【10kmの場合】

	移動速度	移動距離	移動時間	短縮時間	削減割合
トラクター	15km/h	10km	40分	-	-
自動車運搬	40km/h	10km	15分	25分	62.5%

ドローンを収納して荷台に乗せた自動車とトラクターを比較



運搬車の荷台に
資材一式がまとまる

デメリット

- 搭載容量が少ない
- バッテリー1本あたりの作業時間が短い
→一度に散布できる量が限られる
→散布物補給・バッテリー交換が頻繁

※適材適所の作業機械で効率的な飼料生産を行い飼料確保の安定化で経営安定を目指しましょう！

(お問い合わせ：畜産試験場酪農飼料部 0984-42-4837)

令和6年度後期牛群審査・体型調査・SNP審査報告 優良牛342頭の審査結果から

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会 審査委員 池田 泰男

師走に入り、何かと慌ただしいなか、12月11日(水)から19日(木)までの7日間、令和6年度後期牛群審査並びに後代検定体型調査・SNP審査を実施しました。前回は平成30年度前期に伺っていますので6年半ぶりとなります。

さて、今回の審査・調査実績は表1のとおりで、牛群審査13戸124頭、奨励審査3戸11頭、後代検定娘牛と同期牛を調査する体型調査が19戸189頭、SNP審査が5戸18頭、総合計で342頭の審査・調査を実施しました。その他にジャージー種1頭の審査も実施しています。

牛群審査並びに奨励審査を合計すると135頭で、前年同期より14頭と若干減少する結果となりました。後代検定の体型調査では、年間割当頭数が315頭で後期の割当が169頭でしたが、全国的に不足していることから、189頭を実施させていただき、106%の消化率となりました。また、SNP審査では、年間計画頭数110頭で後期の割当が36頭でしたが、18頭を実施し83.6%の消化率となりました。体型調査並びにSNP審査にご協力いただいた皆様、お忙しい中大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

表1 宮崎県における審査・調査実施状況(ホルスタイン種)

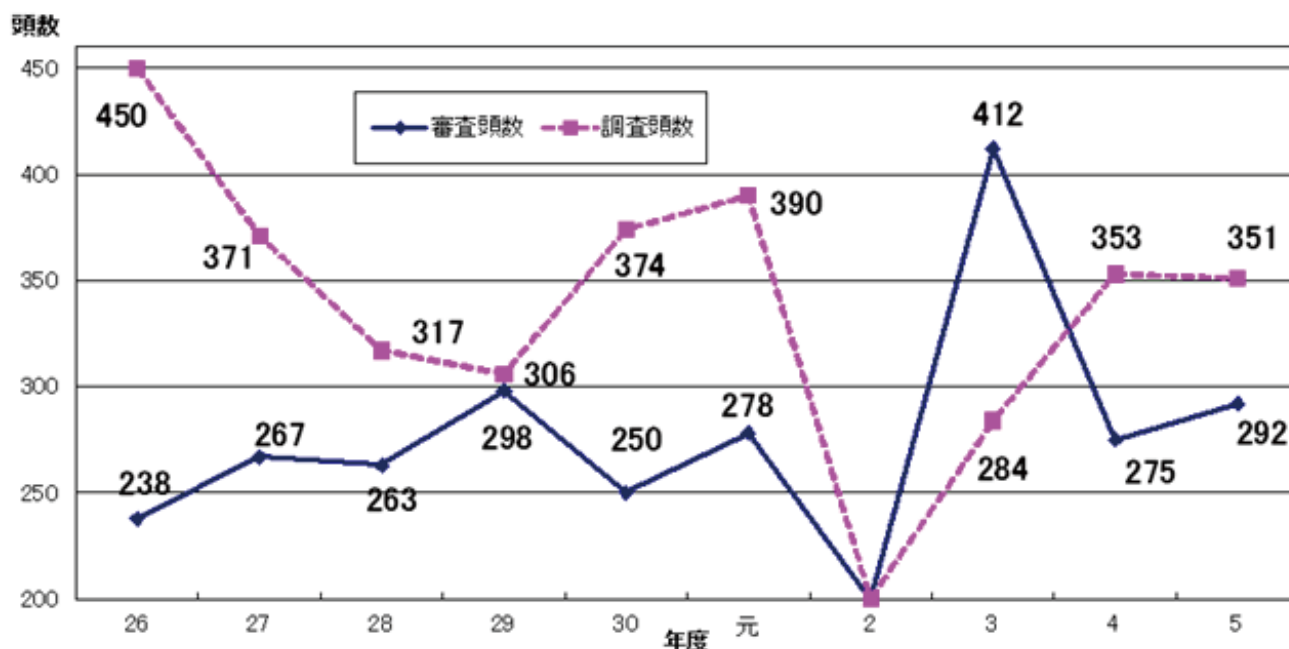
年度	牛群・奨励審査				後代検定		ロボット調査		歩様調査 SNP 審査		総合計 頭数	平均 得点
	戸数	頭数	奨励	合計	戸数	材料	戸数	合計	戸数	頭数		
26	27	221	17	238	77	450					688	80.8
27	26	250	17	267	64	371					638	81.4
28	31	251	12	263	52	317					580	81.7
29	32	284	14	298	51	289			3	17	604	82.1
30	38	218	32	250	50	261			22	113	624	81.4
元	34	253	25	278	40	207	10	128	14	55	668	82.4
2												
3	40	390	22	412	32	262	3	22			696	83.4
4	33	249	26	275	34	288	7	65			628	82.1
5	35	274	18	292	27	249	5	62	9	40	643	83.0
6	30	224	26	250	35	335			21	92	677	82.2
6(前)	14	100	15	115	16	146			16	74	335	82.1
6(後)	16	124	11	135	19	189			5	18	342	82.2

審査・調査頭数の推移

平成26年度からの審査と後代検定の体型調査、ロボット調査(R1～5年実施)、歩様調査(H29～R1実施)、SNP審査(R5～継続)の推移を図1に示しました。審査頭数は順調に伸びていましたが、平成30年度に若干落ち込み、翌年回復の兆しを見えていましたが、令和2年度はコロナウイルス感染症の蔓延から中止となりました。令和3年度はその反動から、約1.5倍に跳ね上がり412頭の受検となりました。牛群審査を年間行事として捉えていただき、毎年の様に受検していただいている酪農家の皆様、ありがとうございます。令和4年度からは例年の頭数に戻り、今年度は若干の増加となりました。

調査事業では、後代検定の体型調査のみであった令和29年度までは、年々減少傾向にありましたが、令和29年度後期～令和元年度まで歩様調査を実施したことで、増加傾向に転じ、令和元年度～5年度までロボット調査を実施、令和5年度後期から現在までSNP審査が新たに始まったため、350頭台の頭数を維持している状況です。

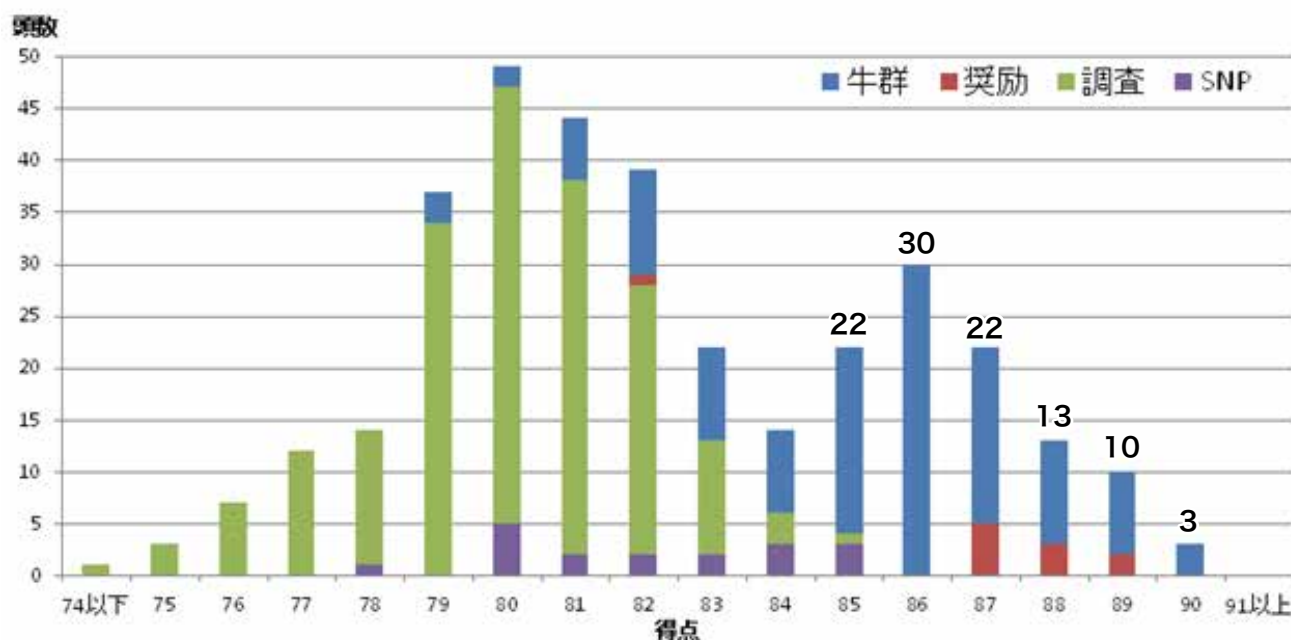
図1 年度別審査並びに調査頭数の推移



結果から

さて、今回の審査では、90点以上のEX(エクセレント)牛は3頭誕生しています。内訳は、2E・90点が1頭、新規90点が2頭です。次産に期待される高得点牛、89点が10頭、88点が13頭となりました。(図2)

図2 得点の分布



今山陽一氏宮崎県初の3代EX獲得

今回の審査でEX牛が3頭誕生したが、なかでも都城市の今山陽一牧場「ダイヤモンド」(5歳2ヵ月・父ダイヤモンドバック)は10月に4産を分娩し、全体のバランスに優れ、肋骨は良く開張し、方向も良いです。特に乳器は前乳房の付着は強く、後乳房の付着も高く形状に優れていたもので90点(乳器91点)と評価しました。この牛で宮崎県初の3代EXの誕生とのことで、永年の努力に敬意を表します。おめでとうございます。また、都城農高の「クラツシュ」(5歳7ヵ月・父クラツシュ)は8月に4産を分娩し、雄大な体貌と骨格、機能的な乳器を備えていました。榎木敦史牧場の「ボルトン」(8歳9ヵ月・父アルマーニ)は、9月に7産を分娩し、乳器が素晴らしく、乳器を92点と評価しEX-2Eとなりました。昨年11月開催の九州連合ホルスタイン共進会ではシニアリザーブチャンピオンに輝き、第12部でベストアダーも受賞されていました。他にも紹介したい優良牛が多数いましたが、紙面に限りがありますのでここまでとします。

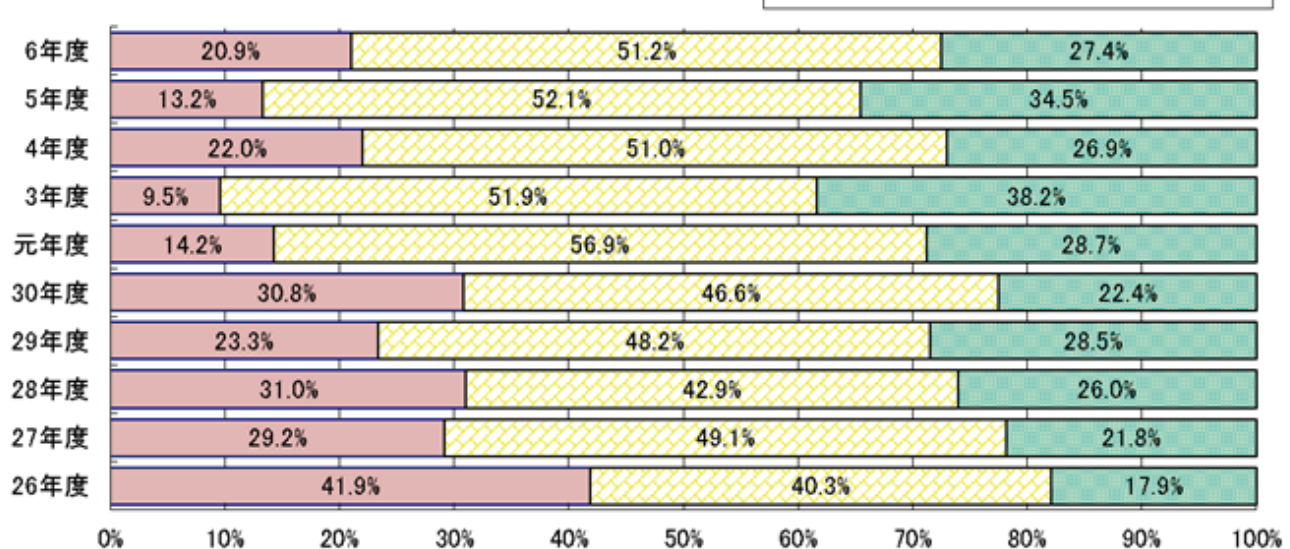
名 号 登録番号(IDNo)	生年月日	父牛略符号	所有者住所 氏名	今回得点 (4 部位得率)	産次
グロリーナウ テト マダム ライン ダイヤモンド 1601844925	R 1.10.04	7H12587	宮崎県都城市横市町5 今山 陽一	90 (89 87 90 91)	5-02 4産
サンシャイン クラツシュ 6502 1587265028	R 1.05.07	94H17998	宮崎県都城市祝吉1ー 宮崎県立都城農業高等	90 (89 88 89 91)	5-07 4産
ネトルツリー アルマーニ ホルトン 1492707934	H 28.02.22	7H11703	宮崎県都城市山之口町 榎木 敦史	90 (87 88 90 92)	8-09 7産

産次別の受検傾向では今回も3産牛までの受検が多く、それ以上の成牛は少なかったです。まだ成長段階の4～5歳としては十分な体貌と骨格を兼ね備えていますが、EXと評価するには尻幅、胸幅、肋張り等にやや不足があると感じました。次産を無事に分娩し、体貌全体の成長と更なる充実が成されれば、多くのEX牛が誕生すると思います。

クラス別得点分布

図3には、平成26年度から令和6年度までの審査・調査牛の得点をクラス別割合で示しました。26年度から増減しながらも79点以下のクラス牛が減少し、80点～84点、85点以上が増加しています。特に、80～84点の割合は令和元年から50%を超えるまで増加し、85点以上では30%を前後で推移しています。このことは当然、皆様の努力による改良の成果であり、優秀牛が増えている証です。表現を変えると、評価の低いクラスが少なくなり、全体の底上げとなっている証となります。

図3 年度別審査・調査牛の決定得点クラス別比率



最後に

7日間と短い期間でしたが、都城・西諸・高鍋と回り、342頭の素晴らしい牛を見る機会を得た事は大変有意義であり、勉強させていただきました。夜の一献の場に誘われたときは、皆様の改良意欲と勉強熱心なところに感銘いたしました。今山陽一同志会長のご指導と県内酪農家及び各経済連担当職員皆様の努力の賜物とお察しいたします。

また、将来の酪農並びに指導者の後継者となる期待の若者が日夜勉強している「都城農業高校」並びに「高鍋農業高校」では、短い時間ではありましたが審査内容を非常に熱心に聞いていただき感謝いたします。牛を見る目が正確で、頼もしく感じました。今後も出来るだけ多くの優良牛を見て、審査眼に磨きをかけ、宮崎県はもとより、日本の酪農発展に寄与してください。期待しています。

酪農家戸数、飼養頭数の減少に伴い、全国的に生乳生産の減少に歯止めがかからない状況が続き、生乳生産基盤の弱体化の回避が喫緊の課題とされています。さらに昨今、天候の不安定からくる長雨や集中豪雨、円安による経費の高騰・高止まり、ランピースキン病の発見など、不透明感が一層強まっており、予断を許さない状況が続いています。そんな情勢のなかですが、本年10月25・26日には、第16回全日本ホルスタイン共進会が北海道安平町で開催されます。当協会としても、無事開催できることを願いながら、着々と準備を進めているところであります。全共に向け宮崎県の酪農家が一致団結し、素晴らしい成績を収めます事を心から期待しておりますと共に、当協会の事業推進に今後ともご協力を賜ります事をお願いし、まともない牛群審査結果報告といたします。最後に、お世話になりました多くの皆様に御礼申し上げます。これからも宜しくお願いいたします。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

南から北へ、東から西へ

南野 快

このところ出張が続いている。毎年この時期、東京のT大学と盛岡のI大学に出向き、非常勤講師として講義をしている。例年は前日に上京して翌日朝一番にT大での講義後に上野駅から新幹線に乗って午後2時から講義をしている。昨年1月23日のことである。講義を終えて上野駅に到着したら「大宮駅周辺で架線トラブルのため運行を見合わせています」との構内アナウンス。すぐに動かないと予定時刻に講義できない。しかし、いつ運行が再開するかわからない。ただ、常磐線は動いていた。そのホームに行き、電車に乗るかどうかを逡巡したが発車が近づいたので取りあえず車両に乗り込んだ。新幹線なら上野から盛岡まで2時間余りのところ、常磐線だと仙台から新幹線を使っても5時間以上を要し、到着は午後5時を回っていた。その日の講義はもうできず、翌日午前も学生が他の授業があるということが電車に乗った後に判明した(泣)。結局盛岡では講義出来ず、夜の懇親会に参加しただけで帰ってくるしかなかった(汗)。もちろん、授業対応としてはそれで終わるわけにはいけないので宮崎で録画したファイルをI大に送り、オンデマンド配信とした。思い返せば上野駅から電車に乗らずに東京でリアルタイムのオンライン講義とした方がまだ良かった。コロナ禍でもオンライン講義をしていたので、そもそも「なぜわざわざ現地まで行って対面で授業をしなければいけないのか？」と思われる方もいるかもしれないが、やはり直接学生に会って話をしてその反応を確かめることが大事である。特に、他大学の学生であれば一人一人の顔を間近で見ながら私の話がどこまで伝わっているかを学生にも質問しながらその反応を確かめ、学生の話も聞くことが、活きた授業には必要である。オンライン授業ではその場の雰囲気が

掴めない。

今年は無事に盛岡に到着、I大での講義は2年ぶりとなった。対象は獣医学科の4年生約30名。いつもする質問は「実家が牛を飼っている人はいますか？」で、一人もないことが多いのだが、今年は一人が手を挙げた。「酪農家？」と聞くと「はい」と言うので「家はどこ？」と尋ねたところ、かつて僕が繁殖検診をしていた地区だったので少し驚き、「えっ、名前は？」と聞いたら検診していた農家さんの息子だった。そう言われれば顔も似ている。「〇さんの息子さん！、うわ？」と感激して僕が固まっていると、教室が笑いに包まれた。でも、こういう出会いは楽しい！

今年は盛岡→東京の順番での移動だった。そういえば、去年はT大の獣医学専攻4年生の中に家畜人工授精師さんの息子がいた。牛に関わる獣医師を目指す学生がそれぞれの大学で一人でも多くなることを願っている。



写真：今年の1月下旬に盛岡再訪。岩手山が出迎えてくれた。

ZENRAKUREN



初乳粉末製品

全酪連の牛用混合飼料

GOOD START

PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有



和牛
にも!

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル

乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末



全国酪農業協同組合連合会

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

